暮らしのサポーターコーナー

★ 消費生活センター業務時間
時間・場所
㊊～㊎　8時30分～17時
（来所は9時～16時）
本庁舎1階　消費生活相談室
相談専用電話 ☎ 574-2233

第111回

焦る親心が狙われています！

晩婚化が進展していることを背景に、親が関与する結婚相手紹介サービスのトラブルが発生しています。

全国の消費生活センターなどに、親が関与する結婚相手紹介サービスに関するトラブルが複数寄せられています。特に、親に対して電話での勧誘や家庭への訪問を行い、それをきっかけに親や子に契約させる業者とのトラブルの割合が年々増加しています。

寄せられた事例の中には、「子が結婚しないのは親の責任」と業者に迫られたものや、「子に話すと反対するから内緒にするように」など、結婚の当事者である子にきちんと説明をしないまま契約をさせる業者とのトラブルがみられます。ほかにも、クーリング・オフをしても返金されなかったり、中途解約時の解約料が高額だったりするなど、解約時の返金トラブルも多く発生しています。

相談事例

▼「娘に内緒で親が入会するように」と、しつこく勧誘された。

▼来年までに結婚させると勧誘され契約したが、誰も紹介されないので解約したい。

▼クーリング・オフを申し出たところ、返金はしないと言われた。

▼勧誘時の話と違うので解約を申し出たが、違約金は約18万円だと言われた。

消費者へのアドバイス

結婚相手紹介サービスの契約に親が関わる場合には、まずは結婚について子と十分に話し合い、サービス内容を子とともに慎重に確認しましょう。業者を選ぶ際には、契約内容を十分理解し、さまざまな情報を比較検討することが重要です。

もし、契約トラブルに遭った場合は、市消費生活センターにご相談ください。

地域の魅力
ふる里再発見

北畠顕家生誕700年記念「北畠顕家と霊山」

霊山神社創建の歴史（3）

霊山神社には、創建に尽力した地元の五家がいます。後に、霊山神社に関連する事項に子々孫々に至るまで関与することが認められました。

明治32（1899）年1月の「交換盟規」によると、五家の序列は、佐藤喜七、日下金兵衛、脇屋次郎、西尾元詢（がんじゅん）、堀江里（さとし）となっています。いずれも北畠顕家一族とゆかりの伝承を持つ家で、地元の財産家や旧家です。

佐藤喜七は、新田村（現伊達市梁川町）で塩の売買を扱った豪農でした。村名の新田は、南朝方の新田一族に関連すると称しています。

日下金兵衛は、地元の霊山町大石の旧家で、霊山城の落城後に土着した一家と称しています。明治14（1881）年は村会議員で、霊山神社の創建にあたりました。

脇屋次郎は、金原田村（現伊達市保原町）の旧家で、南朝の脇屋（新田氏）一族と伝えられています。明治11（1878）年から県会議員や創建副総理を務め、後に総理として霊山神社の創建に尽力しました。

西尾元詢は、詳しいことが不明の人物で、霊山との縁故も明らかでありません。しかし、西尾氏は、米沢藩の儒学者である中川雪堂から神社創建の運動を知り、日下と共に有力な総代でした。

堀江里は、伊達郡内の名族です。北畠氏の一族を称し、大石の舘主として土着し、玉野村（現相馬市玉野）を経て梁川に移りました。富沢・箱崎・砂子堰の開発者で知られています。

霊山神社絵図
（大正～昭和前期）